



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,862	△7.2	429	△31.0	335	△35.2	157	△42.8
28年3月期第3四半期	11,707	△12.2	622	21.8	518	37.7	275	50.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 270百万円(52.0%) 28年3月期第3四半期 177百万円(△11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	27.19	—
28年3月期第3四半期	45.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	19,064	6,995	36.2	1,235.79
28年3月期	20,269	7,047	34.3	1,157.51

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,898百万円 28年3月期 6,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,730	△5.9	600	△22.0	450	△28.3	250	△18.2	41.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 1社 (社名) 蘇州新南包装制品有限公司

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	6,006,373株	28年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	423,952株	28年3月期	3,910株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	5,792,434株	28年3月期3Q	6,002,470株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済状況は、個人消費及び設備投資において力強さに欠ける動きが見られましたが、雇用環境の改善及び円安の進行を背景として、緩やかながら景気回復が続きました。世界経済は、全体として回復基調を維持しているものの、米国における大統領選挙の結果を受けて不透明感が強まりました。

物流業界におきましては、国内貨物は前年同期とほぼ同水準の低調な推移が続きました。国際貨物は円安の進行を受け、輸出貨物において回復傾向が見られました。

このような事業環境の中、当社は半導体製造装置の取扱額が増加したものの、無線通信機器の取扱額が減少したことで売上高が減少いたしました。利益面におきましては、売上高減少の影響及び一般管理費の増加により営業利益が減少いたしました。

国内連結子会社におきましては、主要顧客の製品取扱額の減少に加え、その他顧客において前期に発生した特需の反動により、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期5月に華南地区の子会社2社を譲渡した影響及び当期7月に華東地区の子会社の出資持分を一部譲渡した影響により、売上高は減少いたしました。赤字体質からの改善が進み、事業の収益力は向上いたしました。

米国連結子会社におきましては、スチール梱包業務が軌道に乗り始め、さらに調達物流への取組みも行ったことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高108億62百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益4億29百万円(前年同期比31.0%減)、経常利益3億35百万円(前年同期比35.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億57百万円(前年同期比42.8%減)となりました。

なお、当期7月に中国華東地区の子会社の出資持分を一部譲渡した影響により、関係会社株式売却損90百万円を特別損失として計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

前期5月に中国華南地区の子会社2社を譲渡した影響及び当期7月に華東地区の子会社の出資持分を一部譲渡した影響により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高77億10百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益7億58百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱額が減少した結果、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高16億10百万円(前年同期比11.9%減)、セグメント利益37百万円(前年同期比41.5%減)となりました。

③ 倉庫事業部門

工作機械保管額の減少及び当期4月の事業所閉鎖の影響により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高13億52百万円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益2億74百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

フリーレント期間の設定及び修繕費用等の発生により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億89百万円(前年同期比9.0%減)、セグメント利益48百万円(前年同期比43.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産190億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億5百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、49億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億72百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少10億20百万円、受取手形及び売掛金の増加1億21百万円によるものであります。

固定資産につきましては、141億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億33百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億82百万円、リース資産の減少1億76百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加54百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、120億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億53百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、36億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億91百万円、短期借入金の増加1億83百万円、未払法人税等の減少1億79百万円によるものであります。

固定負債につきましては、84億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少4億4百万円、リース債務の減少1億84百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、69億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の増加43百万円、自己株式の取得による減少2億5百万円、その他有価証券評価差額金の増加39百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.3%から36.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、蘇州新南包装制品有限公司は、出資持分の一部を譲渡したため連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,681千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384,847	1,364,404
受取手形及び売掛金	3,003,246	3,124,423
商品及び製品	11,262	—
原材料及び貯蔵品	124,943	113,385
繰延税金資産	121,967	50,766
その他	189,891	311,237
貸倒引当金	△5,900	△6,300
流動資産合計	5,830,259	4,957,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,915,629	7,732,966
機械装置及び運搬具(純額)	102,210	91,547
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	2,244,409	2,068,173
その他(純額)	30,840	33,910
有形固定資産合計	12,596,544	12,230,053
無形固定資産		
ソフトウェア	128,990	114,218
その他	5,639	5,556
無形固定資産合計	134,629	119,775
投資その他の資産		
投資有価証券	380,686	435,056
破産更生債権等	20,323	8,227
繰延税金資産	690,824	675,310
その他	633,129	642,379
貸倒引当金	△16,490	△4,569
投資その他の資産合計	1,708,472	1,756,404
固定資産合計	14,439,647	14,106,233
資産合計	20,269,907	19,064,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	725,534	534,362
短期借入金	1,715,768	1,898,772
1年内償還予定の社債	107,000	—
リース債務	246,645	245,582
未払法人税等	208,157	28,396
賞与引当金	300,054	156,307
その他	864,124	750,184
流動負債合計	4,167,285	3,613,604
固定負債		
長期借入金	5,320,753	4,916,620
リース債務	2,106,415	1,921,698
退職給付に係る負債	804,016	834,654
資産除去債務	406,183	412,756
長期預り金	213,309	207,677
金利スワップ	204,740	161,974
固定負債合計	9,055,418	8,455,381
負債合計	13,222,703	12,068,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,154,022	2,197,045
自己株式	△3,200	△208,601
株主資本合計	7,115,816	6,953,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,369	145,767
繰延ヘッジ損益	△142,048	△112,377
為替換算調整勘定	△51,478	△15,350
退職給付に係る調整累計額	△80,774	△72,762
その他の包括利益累計額合計	△167,932	△54,722
非支配株主持分	99,319	96,449
純資産合計	7,047,203	6,995,165
負債純資産合計	20,269,907	19,064,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,707,959	10,862,599
売上原価	9,391,258	8,738,545
売上総利益	2,316,700	2,124,054
販売費及び一般管理費		
販売費	857,120	807,889
一般管理費	837,518	886,952
販売費及び一般管理費合計	1,694,638	1,694,842
営業利益	622,061	429,212
営業外収益		
受取利息	1,703	423
受取配当金	8,486	8,843
受取保険金	5,339	5,781
その他	6,307	4,920
営業外収益合計	21,836	19,968
営業外費用		
支払利息	125,868	113,401
その他	—	34
営業外費用合計	125,868	113,436
経常利益	518,030	335,743
特別利益		
固定資産売却益	69,421	105
投資有価証券売却益	—	1,960
特別利益合計	69,421	2,065
特別損失		
関係会社株式売却損	28,507	90,971
固定資産売却損	—	3,069
投資有価証券売却損	—	75
特別損失合計	28,507	94,115
税金等調整前四半期純利益	558,944	243,694
法人税、住民税及び事業税	182,500	23,450
法人税等調整額	97,457	61,943
法人税等合計	279,957	85,393
四半期純利益	278,986	158,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,438	786
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,548	157,514

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	278,986	158,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,195	38,292
繰延ヘッジ損益	1,344	29,671
為替換算調整勘定	△91,309	36,127
退職給付に係る調整額	4,027	8,012
その他の包括利益合計	△101,133	112,103
四半期包括利益	177,853	270,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,092	270,723
非支配株主に係る四半期包括利益	2,761	△319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式420,000株の取得を行っております。

この結果、第2四半期連結累計期間において、自己株式が2億5百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2億8百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,233,407	1,828,826	1,437,043	208,682	11,707,959	11,707,959
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,896	3	—	1,899	1,899
計	8,233,407	1,830,722	1,437,046	208,682	11,709,858	11,709,858
セグメント利益	767,221	64,319	297,310	84,854	1,213,706	1,213,706

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,213,706
セグメント間取引消去	609
全社費用(注)	△592,253
四半期連結損益計算書の営業利益	622,061

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,710,027	1,610,629	1,352,065	189,878	10,862,599	10,862,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,233	—	—	3,233	3,233
計	7,710,027	1,613,863	1,352,065	189,878	10,865,833	10,865,833
セグメント利益	758,239	37,655	274,178	48,378	1,118,451	1,118,451

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,118,451
セグメント間取引消去	562
全社費用(注)	△689,802
四半期連結損益計算書の営業利益	429,212

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。